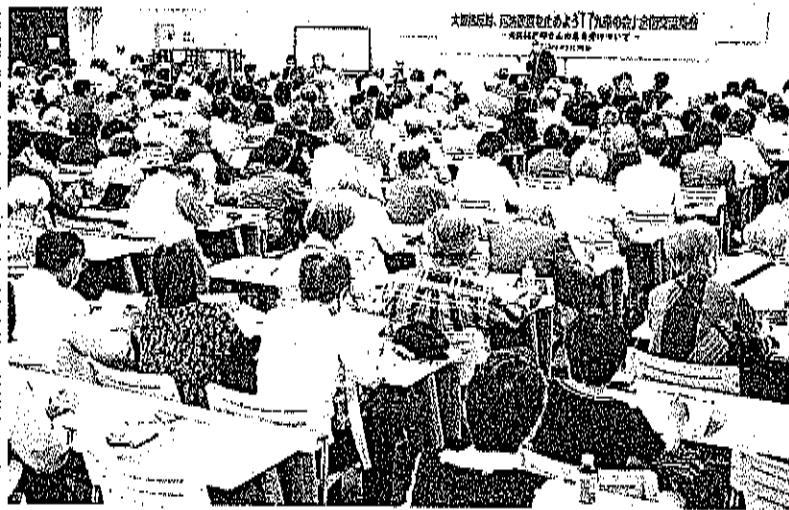


5/29 五曜

「九条の会」運動 今こそ大きく



大江健二郎さんの講演後、大軍拡に憲法改憲を止めと開かれた九条の会全国交流集会=28日、東京駅前代田区

全国交流集会を開催

平和主義捨てる改憲・大軍拡許さぬ

「九条の会」は28日、東京都内で「大軍拡反対、憲法改憲を止めよう!」・「九条の会」全国交流集会=大江健二郎さんとの志を重ねついで=を開きました。全国32都道府県、29の分野別の九条の会が中心となり人が参加。岸田政権が安保法・文書に盛りき「敵基地攻撃能力」の保有、5年間で33兆円の大軍拡を進める羅針した状況のなかで憲法の条をひらくじめくい活動する草の根の運動の経験を交流しました。

→詳報●面

3月26日死闘した野田（作家）の思いを継ぎ絆が表されました。
かけ人の大江健二郎さん 運動を進めていく決意が表

小森勝一 営業局長は、主
しに批判。「これがの集改

「核軍縮に廻すの」・首脳
は「核軍縮」が由来された
といふは断じて許せないと強
調。世話をの愛媛吉川稻田
大軍改憲、成るむ手を取
りた」と感ひかけました。の再出発をめざす」と呼
びかけ、会場から大きな拍
手が湧きあがみました。

憲法を顧みずる岸田政権の本
質だ」と述べました。

その上で、「岸田政権の
大軍拡政策に対する反対の

声を大きくあげ、運動を進
めていくことが求められて
いる」と語った。「大軍拡の
中身が『軍事防衛』を捨

めていくことが求められて
いる」と語った。「大軍拡の
中身が『軍事防衛』を捨

めていくことが求められて
いる」と語った。「大軍拡の
中身が『軍事防衛』を捨

めていくことが求められて
いる」と語った。「大軍拡の
中身が『軍事防衛』を捨

めていくことが求められて
いる」と語った。「大軍拡の
中身が『軍事防衛』を捨